

県立高校「未来の学校」構築事業 実践校の指定について

高校教育課
学びの改革支援課

1 趣旨

「高校改革 ～夢に挑戦する学び～ 実施方針」に基づき、「未来の学校」として先進的・先端的な研究開発に取り組む実践校を指定することにより、長野県高校教育をけん引する新たな学びの場、学びの仕組みを構築する。

2019年度は研究校を指定し、有識者であるアドバイザーの指導・助言・協働を得ながら研究開発計画を作成してきた。

この計画を具体的に実践する実践校6校を指定し、概ね5年間研究開発に取り組み、検証・評価を行うとともに、成果の普及につとめる。

2 「未来の学校」実践校

種別 (略称)	構想及び目標	実践校
卓越した探究的な学びを推進する高校 (スーパー探究校)	佐久市内外の病院や企業、大学等と連携し、それぞれの分野の最先端を学びながら、地域や社会の課題解決につながる卓越した探究活動を行い、「広い知識と教養及び未来を担う自覚」「論理的思考力と主体的課題解決能力」等を備えた、地域や日本、世界で活躍し未来社会の核となる人を育成する。	野沢北高等学校
信州に根ざしたグローバルな学びを推進する高校 (信州グローバルハイスクール)	「地域の知と創造の拠点 ～大学のないまちの大学のような高校 Super Academic High school (SAH)」を目指し、須坂市や国内外の大学等と連携して、世界と地域を関連づけた教科横断的な課題解決型学習や実践的英語学習を行い、グローバルな視野をもちながら地域や社会に貢献できるリーダーを育成する。	須坂高等学校
国際的な教育プログラムを研究する高校 (国際教育プログラム研究校)	リニア新時代を迎え、地域に根ざしたアイデンティティとグローバルな視野をもって、地域や世界の未来を創造できる人を育成するために、国際的な教育プログラムの長所を活かした独自のカリキュラムや指導・評価法を開発するとともに、他校にも開かれた海外大学進学プログラムを構築する。	飯田風越高等学校
高度な産業教育を推進する高校 (高度産業教育推進校)	「高校での学び(地元への愛着を深め、自己の生き方をデザインし、木の新たな価値を見出す力等を育む)」と「卒業後の学び」を結びつけ、地元企業や上級学校等と一貫した教育プログラムを構築し、高度な技能・技術と創造性、経営者感覚を備えた、地域の未来を担う産業人を育成する。	木曾青峰高等学校
少人数学級を研究する高校 (少人数学級研究校)	自らキャリアをデザインし、地域社会に主体的に貢献できる人を育成するために、多様な生徒に対応できる「個別最適化学習」や「地域連携型探究活動」等を取り入れた少人数学級のあり方と、教員の指導力を最大限に活かす学校運営のあり方を研究する。	坂城高等学校
その他の研究校 (自治の追求により骨太のリーダーを育成する高校 (骨太リーダー育成校))	校是としての“自治”を問い続け、その理想をすべての場面で追求・具現化することにより、高い志や使命感、未解決の課題への挑戦心、学問的真理を追究する意欲等の資質・能力を身につけ、他者と協働して新たな価値や社会を創造できる骨太のリーダーを育成する。	松本深志高等学校

1 卓越した探究的な学びを推進する高校

○ 研究の概要

大学・研究機関等と連携して、現代の最先端の学問分野を視野に入れた卓越した探究的な学びを創造することにより、研究に対する意欲と目的意識、社会貢献に対する高い志と広い視野を育む。

【実践校 野沢北高等学校】

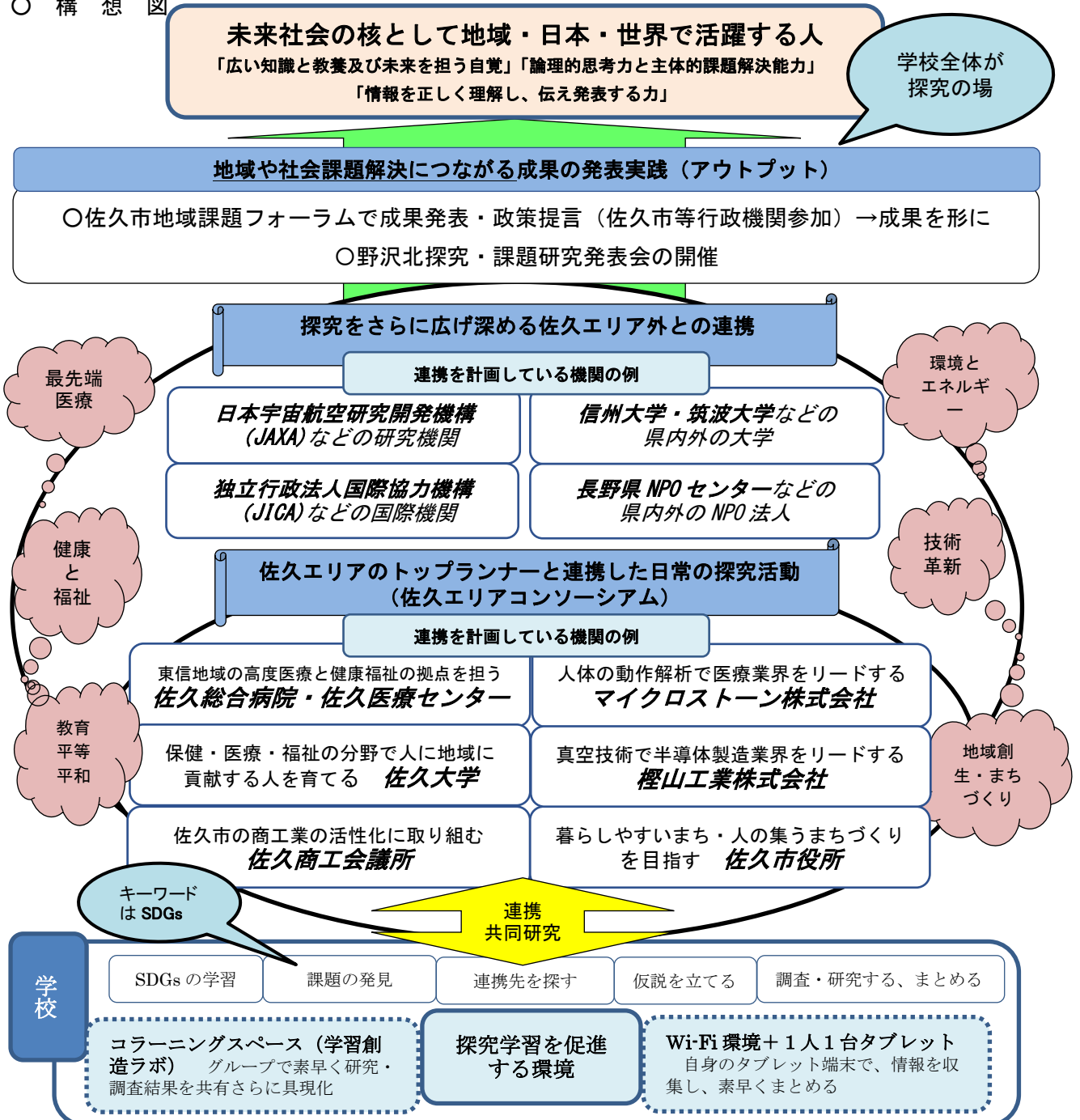
○ 構想名

SDGs を基に新たな社会や地域の創造につながる、各分野の先進的・先端的な機関との連携による卓越した探究的な学びの創出

○ 目標

それぞれの分野をリードする佐久エリア機関との日常的な連携と、探究をさらに広め深めるためのエリア外機関との連携により、最先端を学びながら地域や社会の課題解決につながる卓越した探究活動を通して、「広い知識と教養及び未来を担う自覚」「論理的思考力と主体的課題解決能力」「情報を正しく理解し、伝え発表する力」等を備えた、未来社会の核として地域・日本・世界で活躍する人を育成する。

○ 構想図



2 信州に根ざしたグローバルな学びを推進する高校

○ 研究の概要

世界の諸課題を自分の住んでいる地域と関連づけながら、大学や学校外の団体等と連携して、社会変革や新たな価値を生み出すことにつながる課題解決型学習（PBL）を推進する。

【実践校 須坂高等学校】

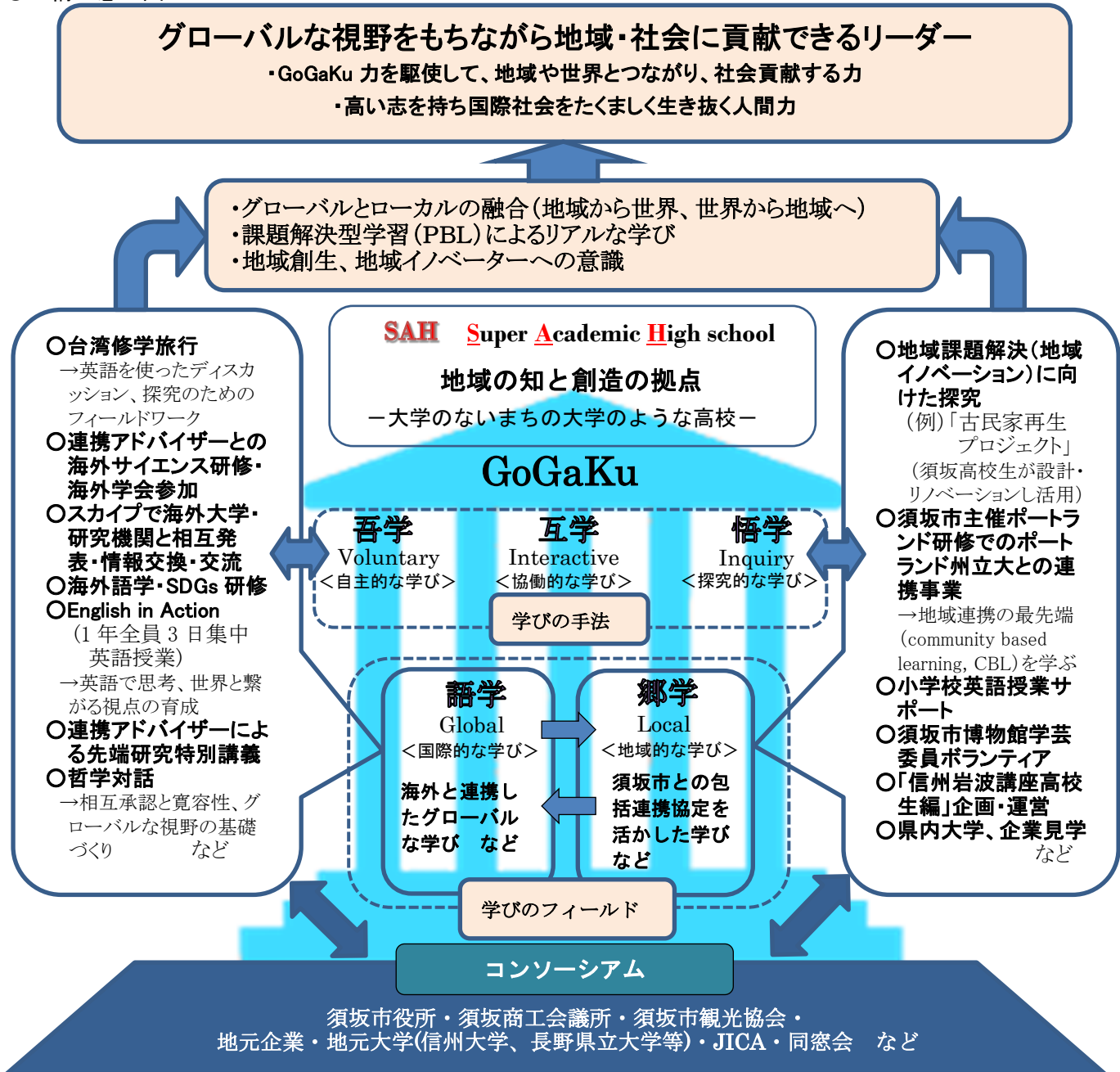
○ 構想名

世界と地域を関連づけた教科横断的な課題解決型学習（PBL）や実践的な英語学習により、グローバルな視野をもちながら地域・社会に貢献できるリーダーを輩出する「地域の知と創造の拠点～大学のないまちの大学のような高校 SAH(Super Academic High school)～」を目指す学校

○ 目標

「地域の知と創造の場」としての柱を GoGaKu（5つの学び）とし、世界・地域双方を学びのフィールドとして、須坂市や大学等と連携し、世界と地域を関連づけた PBL 等の「自主的な学び」「協働的な学び」「探究的な学び」を行うことにより、「地域や世界とつながり社会貢献する力」、「高い志をもち国際社会をたくましく生き抜く人間力」等を育成する。

○ 構想図



3 国際的な教育プログラムを研究する高校

○ 研究の概要

国際的な教育プログラムについて研究し、国際社会で活躍できる資質・能力を育成する教育課程を開発するとともに、海外大学進学希望者のためのプログラムを構築する。

【 実践校 飯田風越高等学校 】

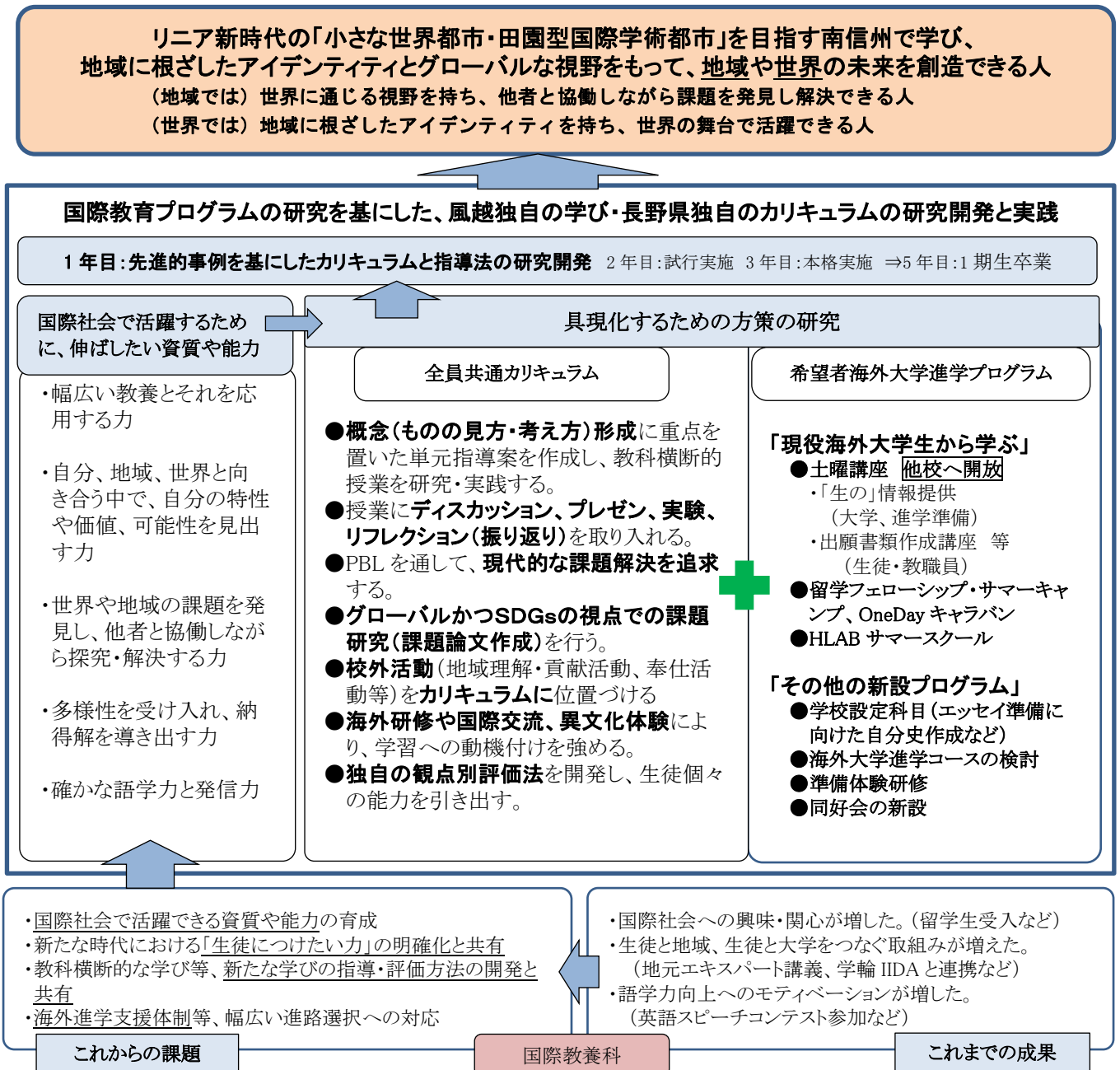
○ 構 想 名

リニア新時代の「小さな世界都市・田園型国際学術都市」を目指す南信州における、国際的な教育プログラムの長所を活かしたカリキュラムの研究開発と、他校にも開かれた海外大学進学プログラムの構築

○ 目 標

地域に根ざしたアイデンティティとグローバルな視野をもって、地域や世界の未来を創造できる人を育成するために、国際的な教育プログラムの長所を生かした飯田風越独自のカリキュラムや学びの指導・評価方法を研究開発するとともに、学びの成果を活かしながら、海外大学進学を実現するためのプログラムと支援体制を構築する。

○ 構 想 図



これからの課題

- ・国際社会で活躍できる資質や能力の育成
- ・新たな時代における「生徒につけたい力」の明確化と共有
- ・教科横断的な学び等、新たな学びの指導・評価方法の開発と共有
- ・海外進学支援体制等、幅広い進路選択への対応

→

これまでの成果

- ・国際社会への興味・関心が増した。(留学生受入など)
- ・生徒と地域、生徒と大学をつなぐ取組みが増えた。(地元エキスパート講義、学輪 IIDA と連携など)
- ・語学力向上へのモチベーションが増した。(英語スピーチコンテスト参加など)

国際教養科

4 高度な産業教育を推進する高校

○ 研究の概要

独創性の開発や長期インターンシップなど、高校入学から上級学校等までの一体的で一貫した実践的教育プログラムを開発し、地方創生に資する高度な専門性や創造性を育む。

【 実践校 木曽青峰高等学校 】

○ 構 想 名

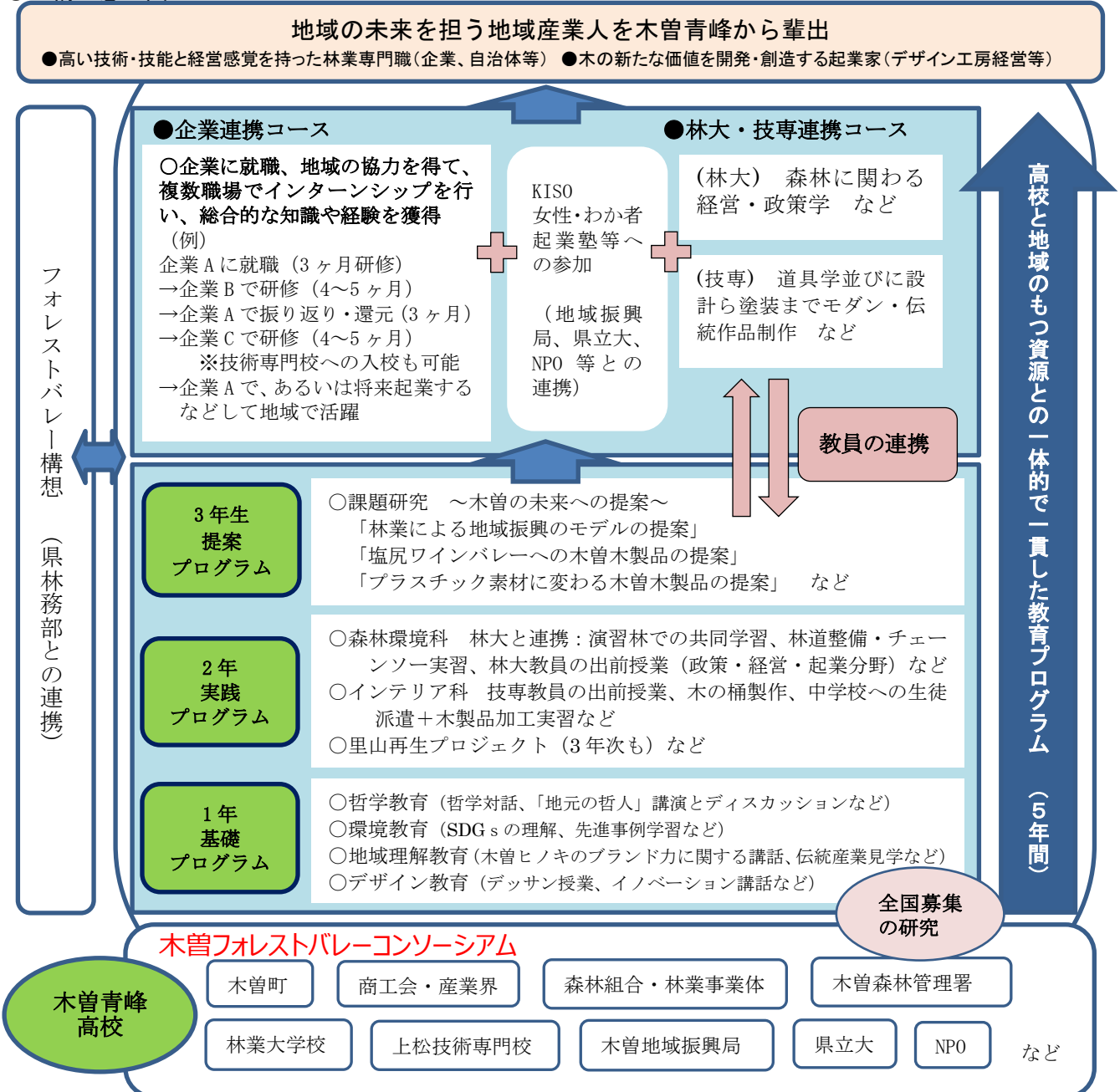
新しい時代を切り拓く地域の未来を担う若手産業人育成に向けた、高校と地域のもつ資源との一体的で一貫した新たな教育プログラムの構築

○ 目 標

高度な技能・技術と創造性・経営者感覚を備えた地域の未来を担う産業人を育成するために、以下のような高校での新たな学びと卒業後の学びをコンソーシアムによって結びつける教育プログラムを構築する。

- ①高校での新たな学びに、林業大学校や上松技術専門校、自治体や企業等と連携した実践的活動の他、地元への愛着を深め、自己の生き方をデザインし、木の新たな価値を見出す力を身につけるプログラム等を研究開発する。
- ②就職後は、コンソーシアム内で検討した地元複数企業での長期インターンシップを実施し、木に関わる広い業種で研修することで、より総合的な知識や考え方、技術、経験を身につける。
- ③県林業大学校、上松技術専門校との連携を強め、林大グレードアップ構想を踏まえながら一貫カリキュラムの研究開発を推進する。

○ 構 想 図



5 少人数学級を研究する高校

○ 研究の概要

学級規模を縮小し、生徒数に応じた新たな学びや指導のあり方とその有効性について仮説を設定して検証するとともに、学校運営のあり方についても研究する。

【実践校 坂城高等学校】

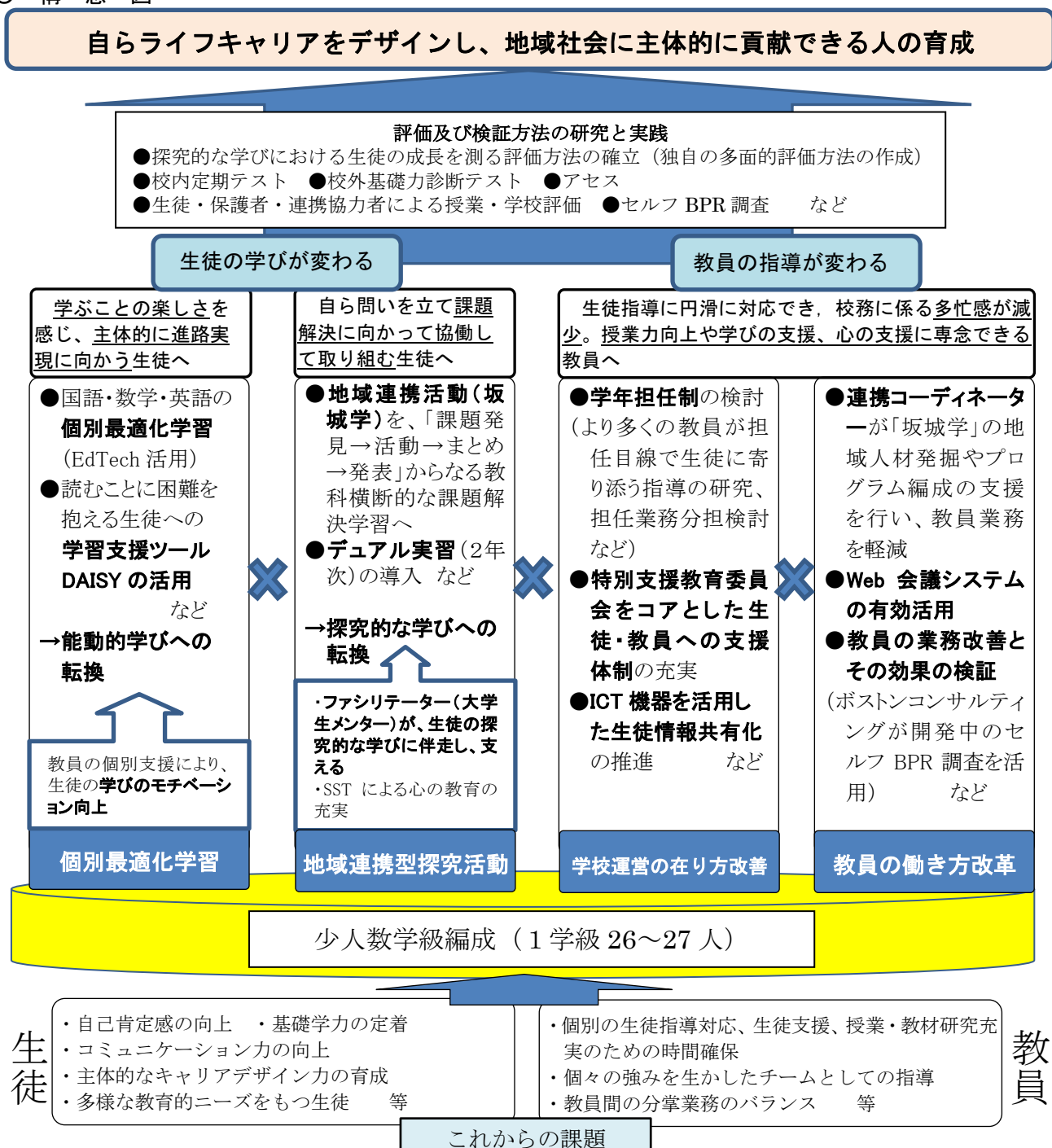
○ 構想名

少人数学級編成を生かしたインクルーシブな「個別最適化学習」及び「地域連携型探究活動」の構築と教員集団の力を最大限に生かす「学校運営のあり方」の研究

○ 目標

自らライフキャリアをデザインし、地域社会に主体的に貢献できる人を育成するために、個々の生徒に適した主体的な学び（個別最適化学習）と、生徒が地域と結びつきながら協働して探究する学び（地域連携型探究活動）を取り入れた少人数学級のあり方と、教員の力を最大限に活かす学校運営のあり方を研究する。

○ 構想図



6 その他の研究校（自治の追求により骨太のリーダーを育成する高校）

○ 研究の概要

現在の教育課題の解決を目的として、既存の考え方にとらわれない発想で、学校や地域の特長・魅力を活かし、多様で柔軟な学びの仕組みを創造する。

【実践校 松本深志高等学校】

○ 構想名

“自治の校風”を追求し、その理想を具現化することで、骨太のリーダーを育成する学校づくり

○ 目標

生徒・教員が“自治とは何か”を問い続け、その理想をすべての場面で追求・具現化することにより、自治を内面化し、高い志や使命感、未解決の課題への挑戦心、学問的真理を追究する意欲等の資質・能力を身につけ、他者と協働して新たな価値や社会を創造できる骨太のリーダーを育成する。

○ 構想図

高い志や使命感、未解決の課題への挑戦心、学問的真理を追究する意欲等の資質・能力を備え、他者と協働して新たな価値や社会を創造できる骨太のリーダー

（例）自然科学特別探究コース→高い使命感と専門性・協働性を備えた医師、研究者などを輩出

骨太な知と創造性・リーダーシップの獲得

- 文理の枠に捉われない幅広く深い教養の獲得
- 学問・職業への関心と問題意識、思考力・論理力・対話力・マネジメント力の向上
- 明確な将来展望と高い志、主体性、創造性、グローバルな視野の獲得
- 課題（社会への問い）発見・解決力、知識・技能の統合活用力向上
- 自治の内面化⇒自立心・タフな精神力・協働性と共創力を備えたリーダーシップ

● 生徒自身が課題や連携先等を開発し実践する課題探究

⇒信大連携ゼミ・深志教養ゼミが連動し、自らの関心と社会課題の連結の強化
⇒自ら研修先決定・計画・実践するキャリア研修旅行（大学・企業）

- 生徒主催同窓生特別講座
- 生徒がデザインする海外研修
- 生徒・職員・大学研究者による自治に関する共同研究

● 生徒主体の学習カリキュラム

⇒新たに人文社会科学、自然科学、自然科学特別探究3コースを設置。さらにその中で、生徒が幅広い科目履修を実現できるカリキュラムを編成
⇒大学と連携し、独創的で発展的な授業の研究開発・実践（先端研究・教科横断・ICT活用など）

⇒成果物の完成度の高さへのこだわりをサポートする、アート&デザインの科目導入
⇒協働・共創を磨く「哲学対話」

● 生徒自ら学校づくりに参画

⇒学校・地域課題を解決するための、鼎談深志（生徒・住民・教職員からなる地域フォーラム）の運営と拡大
⇒生徒が学校の学び、カリキュラム、授業、行事などについても主体的に考え、積極的に提案・提言

● すべての部活動を主体的な創造の場に

（例）練習方法・計画、合宿運営、強化方法など部員が考え実践（運動部）

“自治”を校風だけでなく全ての場面に落とし込む

“自分のことは、自分で決める”

自治の理想を徹底追求

教師は“仕掛け人”（モチベーター&ファシリテーター）

- 生徒の「知への欲求」「社会や人生への問い」に火をつける授業
- カリキュラムや授業の改善
- 助言
- 外部とのつなぎ役 など

これまでの成果

- ・ 学校の根幹である「自治の校風」に基づいた、生徒会活動や部活動などにおける生徒の主体性
- ・ 社会の第一線で活躍する卒業生の輩出
- ・ 医学部医学科への合格実績 等

これからの課題

- ・ 能動的に授業に取り組む生徒の増加
- ・ 偏差値等の一面的価値観に捉われず、学びの意味や楽しさを追求する生徒の増加
- ・ 自己の特性や適性を踏まえた進路選択を行う生徒の増加 等